

E Z - W I N 競馬予想新聞				23.11.26(日) 東京12R G1 ジャパンC 芝2400mC 3歳上定量 15:40														指数						
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	G2以上実績	マイニング	対戦型
6	74	◎	1	1	栗)リパティアイランド	牡3	54	2	A	血	AA	AA	7,2	7,1	15,1	68	131	52	川田将	中内田		A	4	1
4	65	○	1	2	美)イクイノックス	牡4	58	1	A		D+	AA	3,3	16,2	トハイ	50	83	64	C. ル	木村哲	展	A	1	2
9	43	注	2	3	美)タイトルホルダー	牡5	58	5		△			1,7	2,16	1,1	35	77	26	横山和	栗田徹		A	3	4
10	16		2	4	栗)スタッドリー	牡5	58	11					9,1	6,10	8,10	14	68	7	T. マ	奥村豊			11	10
4	45	△	3	5	栗)ドウデュース	牡4	58	3		注		A	6,6	取消	11,1	31	116	26	戸崎圭	友道康	展	A	6	6
10	16		3	6	美)フォワードアゲン	セ6	58	16					8,4	12,7	12,9	8	95	2	黛弘人	中野栄	R		17	15
6	11		4	7	海)イレジン	セ6	58	10					海外	海外	海外	22	80	7	M. ヴ	ゴーヴ			14	14
35	30	★	4	8	栗)パンサラッサ	牡6	58	9		△	C		海外	海外	海外	10	60	7	吉田豊	矢作芳		B	8	11
7	48		5	9	栗)ヴェラアズール	牡6	58	7		△		B	12,2	14,5	海外	15	68	10	H. ド	渡辺薫	展	A	9	9
4	54	▲	5	10	美)ダノンペルーガ	牡4	58	4		注		A	9,4	11,6	海外	31	116	26	J. モ	堀宣行		B	5	5
40	6		6	11	美)トラストケンシン	牡8	58	15					14,9	10,11	11,8	3	369	3	萩野極	高橋文			13	16
9	11		6	12	地)チェスナットコート	牡9	58	17					15,15	地方	地方	3	369	2	田辺裕	田中一			16	17
4	0		7	13	地)クリノメガミエース	牡4	56	18					地方	地方	地方	0	0	2	吉村智	石橋満			18	18
7	29		7	14	栗)ディーブポンド	牡6	58	8					10,3	7,7	7,5	14	98	10	和田竜	大久保		B	2	6
5	22		7	15	栗)ショウナンバシット	牡3	56	12			▲		9,8	10,3	17,14	6	251	3	M. デ	須貝尚	R		12	8
7	19		8	16	栗)インプレス	牡4	58	13					10,13	12,1	12,13	14	278	5	三浦皇	佐々木			10	12
28	55	△	8	17	美)スターズオンアース	牡4	56	6		注	D	B	5,8	11,1	14,1	5	28	7	W. ビ	高柳瑞	R	A	7	3
4	23		8	18	美)ウインエアフォルク	牡6	58	14					17,4	12,1	15,4	0	153	3	藤田菜	根本康			15	13

【過去10年の血統傾向】

・母父が米国型か大系統ミスプロ系
(3着以内馬30頭中18頭が該当)

・父がキングマンボ系の場合は母父ヘイルトゥリーズン系

3着以内馬30頭中11頭を占めたディープ直仔ですが、
その後継種牡馬の産駒は今のところ好走無し(出走4頭)

レースレベルが高く、血統面の適性だけで
格下馬が下剋上を成し遂げるケースは皆無。

最低でもG2勝ちの実績を持つ馬の中から
注目すべき血統は・・・

父がキングマンボ系
父がハーツクライ

【該当馬】

- ・スターズオンアース
- ・タイトルホルダー
- ・ダノンベルーガ
- ・ドウデュース

- ・パンサラッサ
- ・リバティア일랜드
- ・ヴェラアズール

古馬(特に5歳以上)の場合は、ハーツクライ産駒の他、トニービン(グレイソヴリン系)や、サドラーズウェルズの影響を受けた欧州指向が強い血統馬に注意が必要です。

【該当馬】G1連対又はG2勝ちがある馬のみ

- ・イクイノックス
- ・タイトルホルダー(5歳)
- ・ダノンベルーガ
- ・ドウデュース
- ・パンサラッサ(6歳)

3歳馬の場合は、父か母父が
ディープインパクト又はキングマンボ系

【該当馬】

- ・リバティア일랜드

【粹順傾向】

2桁馬番は、少し不利で
3着以内馬は6頭しか出ておりません。

また、2桁馬番が2頭まとめて馬券に絡んだのは
2016年の1度だけという事からも、その出現率の
低さがうかがい知れるところでございます。

本命馬は出来ればひと桁馬番から。

【レース間隔】

前走から9週目(中8週)以上の休み明けは
割り引き材料と考えられるデータが出ており、
順調に使われている馬が30頭中27頭を占めております。

ただし、これに関しては、個体差や牧場・厩舎の仕上げ方が
大きく影響しますので、過信禁物のデータではありません。

【脚質傾向】

逃げ:3頭

4角2～5番手:13頭

4角6～9番手: 7頭

4角10番手～: 7頭

展開や馬場傾向にもよりますが、
基本的には中団よりも前で競馬出来る馬の方が
堅実に馬券に絡むと考えられます。

上り5位以下で馬券に絡んだのは5頭のみ。

【前走傾向】

前走天皇賞秋からの参戦が最強ローテです。

(特に5人気以内だった馬)

- ・イクイノックス
- ・ダノンベルーガ
- ・ドウデュース

3歳牝馬は前走秋華賞が基本となります。

- ・リバティア일랜드

前走がG2だった馬は、
距離が2200m以上で3人気以内だった馬。

- ・タイトルホルダー
- ・ディープボンド

【予想見解】

◎1番リバティアイランド

父:ドゥラメンテ(欧キングマンボ系)

父母父:サンデーサイレンス

母父:豪口ベルト系

祖母父:欧ミスプロ系

欧州型ミスプロ系に相性が良いレースで、
ディーピンパクト産駒が居ない今年はベストな血統。
牝系は短距離牝系で、スプリンターズSと、高松宮で3度2着に走った
ビコーペガサスの他、マイルチャンピオンS3着馬シンボリグラン、
母ヤンキーローズ(豪州の1400mG1と2000mG1の勝ち馬)
などが出ております。

古馬になれば距離適性が2000m以下に

シフトする可能性もありそうですが、
3歳の今なら距離の心配はないでしょう。
むしろ3歳馬だからこそ、母系からスピード強化を
受けている事はプラス材料であろうと考えます。

3冠牝馬が3歳でジャパンカップに出た場合、
全て馬券に絡んでおり、本馬の場合はオークスの
パフォーマンスから考えても勝ち負けが濃厚でしょう。

3冠+有馬・宝塚を制し、凱旋門賞でも僅差の2着だった
オルフェーヴルが3冠牝馬の3歳馬ジェンティルドンナに
破れておりますが、そのジェンティルドンナはオークスで
自身の最大着差を付けて勝っておりました。

リバティアイランドも、オークスで2着馬に1秒差の
大楽勝を収めており、ジェンティルドンナの再現も
十分にあり得ると考えております。

○2番イクイノックス

父:キタサンブラック(Tサンデー系)

父母父:サクラバクシンオー(プリンスリーG系)

母父:キングハイロー(欧リファール系)

祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

自身最短ローテと休み明けレコード駆けが
ダメージとして残らないようなら恐らく勝つのでしょう。

個人的には、ここでつまずかずに
更なるスーパーホースとしての活躍を見てみたいですし、
馬場が硬いようなので、とにかく無事にと切に願っております。

▲10番ダノンバルーガ

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

父母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

母父:ティズウェイ(米インリアリティ系)

祖母父:米APインディ系

JCでは古馬の場合、欧州指向の配合が理想ですが、
ハーツクライ産駒の場合は米国型との配合がベターです。

また、ハーツクライ産駒は天皇賞秋で惨敗しても
JCで巻き返してくる「距離延長が本領」と言うタイプが多く、
天皇賞秋で凡走したハーツ産駒は軽視禁物です。

ドバイターフでは、モレイラJにしては珍しく
直線で進路を無くすロスの大きい競馬で小差の2着。
能力的にはココでも十分通用するレベルと言えます。

★8番パンサラッサ

父：ロードカナロア(欧キングマンボ系)

父母父：米ストームキャット

母父：モンジュー(欧サドラーズ系)

祖母父：欧ミルリーフ系(ネヴァーヴェンド系)

半兄エタンダールは青葉賞2着馬。

タイトルホルダーとよく似た配合ですが、
母系の凱旋門賞血統同士の配合を考えると、
父がロードカナロアである事は、スピードの要求度が高い
東京コースには向いていると考えられます。

昨年の天皇賞秋では、東京の2000mは長すぎる
と言われながらもイクイノックスと0秒1差の2着。

2400mはさすがに長いかも知れませんが、
得意の前傾ラップに持ち込めば、馬場の負荷が軽く
坂が緩やかな東京なら、阪神2200mや中山2500mより

息がもつ可能性は、はるかに高いのではないかと思います。

世界レコードでJCを制したアーモンドアイが
有馬記念でまさかの大凡走をした事は、
中山2500mで求められるスタミナと
東京2400mで求められるスタミナには雲泥の差が
ある事の証明と言えるのではないのでしょうか。

もとより「3戦3連対」の東京巧者であり、
昨年の天皇賞秋の再現があるやも知れません。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券
馬連・3連複ボックス
1・2・17

くまもん馬券
ワイド 8-1・2・3・5・10・17
馬連 8-1・2

3連複流し15点
8-1・2・3・5・10・17

3連単フォーメーション2点

1・2→8→1・2

3連単フォーメーション10点

1・2→1・2→3・5・8・10・17